

平成27年度 事業報告

社会福祉法人
県西福祉会
平成28年5月16日

平成27年度 事業報告（前文）

平成27年度を振り返って

平成27年度は、1つには、新棟の建設に着手すること、2つには、「ふくらん」の自立にむけてさらなる努力を重ねること、3つには、財政を立て直すことを主要課題としてスタートいたしました。

新棟建設は、農地の規制緩和が結論を得るに至らず、平成28年度へと持越しになりました。

「ふくらん」の自立については着実な販売拡大に努めるとともに、「ふくらん」で働くことを希望する障害者への呼びかけに努め、前年度の倍の利用契約に結びつけることができ、経営改善に一筋の光を見出すことになりました。

財政の立て直しについては地域の福祉ニーズの掘り起こしに努め、利用者の増につなげることにより、収支バランスを保つことができました。

総体的には堅実な一年ではありましたが「雇用情勢」は依然として厳しく、職員確保は間断なく取り組まなければならない課題として横たわっております。

社会福祉法人県西福祉会
理事長 松本 信輔

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

経営方針

足柄療護園・県西福祉センターの概要	... 1
1. 理事会・評議員会	... 2
2. 主要行事	... 3
3. 組織体制	... 4
4. 職員状況	... 5~7
5. 足柄療護園の状況	... 8~12
6. 県西福祉センターの状況	... 13~14
7. プレアデスの状況	... 15~17
8. プレアデスホームの状況	... 17
9. ふくらんの販売状況	... 18
10. ボランティア活動の状況	... 19
11. 健康管理の状況	... 20
12. 給食の状況	... 21
13. 権利擁護の状況	... 22
14. 安全管理の状況	... 23
15. コミュニティ(地域交流)の状況	... 24
16. 広報の状況	... 24
17. 渉外関係(家族会・実習生/研修生等)他	... 25
平成27年度 部門別重点実施事項実施報告	... 26~28

★経営方針

《 使 命 》 職員の情熱と地域社会の支持によって
利用者安心の施設を目指します

《 基本理念 》

私達は、自らの使命を認識しながら、そこに辿り着くため、施設運営に当たっては、その基本理念を**自主・参加・安心**と定めます。私達の施設は、集団生活を避けることはできませんが、集団生活の故に発生しがちな「管理」、「画一」、「指示」、「規制」を極力、排し、利用者個々人の「自主性、主体性」を尊重し、当事者としての「参加」と「決定」を大切にしながら、家族ともども「安心感」のもてる生活の場を築きます。

自主・参加・安心

《 長期目標 》

利用者満足の実現

福祉プロ集団への進化

地域福祉の活性化

★足柄療護園・県西福祉センター・プレアデスの概要

平成28年4月1日現在

足 柄 療 護 園

(障害者支援施設)

施設入所支援
60名

生活介護
60名

短期入所
6名

県西福祉センター

(多機能型事業所)

生活介護
30名

自立訓練
(機能訓練)12名

就労継続
支援B型15名

相談

プ レ ア デ ス

(多機能型事業所)

生活介護
15名

就労継続支
援B型30名

共同生活
援助36名

日中
一時

相談

◆ 沿 革 ◆

平成11年 8月	社会福祉法人県西福祉会 法人認可
平成13年 4月	身体障害者療護施設足柄療護園 開設 身体障害者デイサービス県西福祉会センター 開設
平成18年10月	生活介護事業・相談支援事業 開始
平成19年 4月	自立訓練(機能訓練)事業 開始
平成20年 4月	障害者支援施設(生活介護)へ事業移行
平成20年 7月	就労継続支援B型事業 開始
平成22年 4月	プレアデス(生活介護・就労B・共同生活援助)事業開始 プレアデス日中一時事業(小田原市・南足柄市)事業開始
平成24年 4月	県西福祉センター生活介護棟開設 / プレアデス福泉事業所開設
平成24年 7月	プレアデスホーム いずみホーム開設
平成25年 4月	プレアデス福泉 製造棟開設
平成25年 7月	プレアデス福泉「ふくらん」開設
平成26年 4月	プレアデスホーム やまさきホーム「シリウス」「リゲル」開設
平成27年 3月	プレアデスホーム やまさきホーム「カペラ」「スピカ」開設

1. 理事会・評議員会

(1) 理事会

第1回	5月22日 理事7名 監事2名	第1号議案 平成26年度 事業報告(案)について 第2号議案 平成26年度 決算報告(案)について 第3号議案 プレアデス・新棟の建設(案)について
第2回	10月23日 理事7名 監事2名	第1号議案 平成27年度 資金収支補正予算(案)について 第2号議案 平成27年度 事業中間報告(案)について 第3号議案 平成27年度 資金収支中間報告(案)について 第4号議案 職員給与規程等の一部改正(案)について 第5号議案 プレアデスホーム・スプリンクラーの設置(案)について 第6号議案 基盤整備小委員会の設置(案)について
第3回	3月18日 理事7名 監事2名	第1号議案 理事長の互選について 第2号議案 理事長職務代理者の指名について 第3号議案 平成27年度 資金収支2次補正予算(案)について 第4号議案 平成28年度 事業計画(案)について 第5号議案 平成28年度 資金収支予算(案)について 第6号議案 プレアデス・プレアデスGHの指定変更申請(案)について 第7号議案 特定個人情報(マイナンバー)の取扱(案)について 第8号議案 施設再整備3カ年計画(案)について 第9号議案 基盤整備小委員会の活動状況について

(2) 評議員会

第1回	5月22日 評議員14名 監事2名	第1号議案 平成26年度 事業報告(案)について 第2号議案 平成26年度 決算報告(案)について 第3号議案 プレアデス・新棟の建設(案)について
第2回	10月24日 理事15名 監事2名	第1号議案 平成27年度 資金収支補正予算(案)について 第2号議案 平成27年度 事業中間報告(案)について 第3号議案 平成27年度 資金収支中間報告(案)について 第4号議案 職員給与規程等の一部改正(案)について 第5号議案 プレアデスホーム・スプリンクラーの設置(案)について 第6号議案 基盤整備小委員会の設置(案)について
第3回	3月18日 理事15名 監事2名	第1号議案 次期理事・監事の選任(案)について 第2号議案 平成27年度 資金収支2次補正予算(案)について 第3号議案 平成28年度 事業計画(案)について 第4号議案 平成28年度 資金収支予算(案)について 第5号議案 プレアデス・プレアデスGHの指定変更申請(案)について 第6号議案 特定個人情報(マイナンバー)の取扱(案)について 第7号議案 施設再整備3カ年計画(案)について 第8号議案 基盤整備小委員会の活動状況について

(3) 基盤整備小委員会

スプリンクラー設置にかかわり、10月23日の理事会、評議員会において設置が承認された。10月23日(委員長の互選及び目的の確認)、11月24日(入札の執行＝相日防災が落札)、1月25日(工事完了の報告＝委員長立合い)に活動を行い年度末をもって任期満了となった。

2. 主要行事

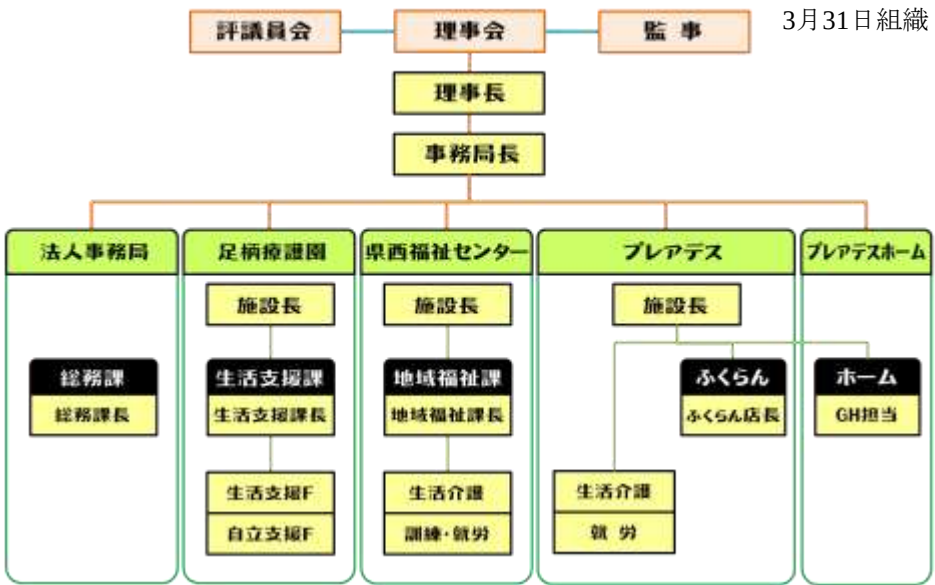
月	施設行事	法人・職員	地域・家族 他
4	施設外活動(花見)【足】【プ】 スポーツ大会【足】	避難訓練【プ】	
5	健康診断 施設外活動(サファリパーク)【足】 施設外活動(地球博物館)【足】 利用者研修【プ】	健康診断 監事監査 理事会・評議員会	家族会総会【足】 ボランティア食事会【足】
6	プレアデス祭 / ボーリング外出【プ】 避難訓練【足】【プ】 カラオケ大会【足&セ】 施設外活動(江の島水族館)【足】	プレアデス祭 職員会議 避難訓練【足&セ】	プレアデス祭
7	避難訓練 / スポーツ大会【足】 卓上ゲーム大会【足&セ】 カラオケ外出【プ】 七夕行事【足】【セ】【プ】	「ふくらん」2周年 定期昇給実施 栄養士未配置体制開始	三竹・福泉・岩原・向田・駒形新宿 夏祭り出店 長野安茂里民児協見学【30】 厚木市小鮎地区見学【32】 小田原女子短大 利用者講演
8	家族交流BBQ【プ】 下田組合同BBQ【プ】 流しそうめん【足&セ&プ】 施設外活動(映画鑑賞)【足】		沼田・いずみ・生駒夏祭り出店 家族交流BBQ【プ】
9	避難訓練【足&セ】 施設外活動(アサヒビール)【足】 ローリング・スレー大会【足&セ】 カラオケ大会【足&セ】 一泊旅行(TDL)【プ】	職員会議 避難訓練【足&セ】	大井高校 利用者講演
10	秋まつり/作品コンテスト 健康診断 スポーツ大会【足】 施設外活動(御殿場アウトレット)【足】 チャレンジ遠足【プ】	理事会・評議員会 秋まつり 避難訓練【プ】	秋まつり<家族会共催>↑ 山崎文化祭出店 広町・大雄町秋祭り出店
11	インフルエンザ予防接種 文化ステージ発表【足&セ】 施設外活動(紅葉)【足】【プ】 カラオケ大会【足&セ】 焼き芋会【足・セ】/バターゴルフ【プ】	評価面接 ディズニー新人研修	大井高校 実習受入 北里大学 利用者講演 三竹・関本自治会文化祭参加 狩野・沼田・和田河原・ 日向文化祭出店
12	おもちつき【プ】 / 手話発表会【セ】 卓上ゲーム大会【足&セ】 クリスマス会【足】 クリスマス行事【セ】【プ】	職員会議 避難訓練【足&セ】【プ】	足柄ふれあいセミナー(81名) 家族会・施設清掃(家族会) GH家族交流会【プ】 日本女子大学 利用者講演 中央医療健康大学校 講演 芦子小学校 利用者講演
1	箱根駅伝応援【足】 もちつき【足】/祝成人式【プ】 文化作品展示会【足】 運動会【プ】/観劇【足&セ&プ】	やまさきホーム・リゲル スプリンクラー設置	
2	節分行事【足】【セ】【プ】 施設外活動(梅鑑賞)【足】 一泊旅行(熱海)【プ】 卓上競技大会【足&セ】	職員健康診断(夜勤者)	ちいきふくし博【足&セ&プ】
3	自分発表会【プ】 カラオケ大会【足&セ】 ローリング・スレー大会ぱっする杯	理事会・評議員会 職員会議 / 避難訓練 権利擁護研修	わくわくのりのりコンサート【プ】 家族会役員選出【足】

3. 組織体制

(1) 組織体制

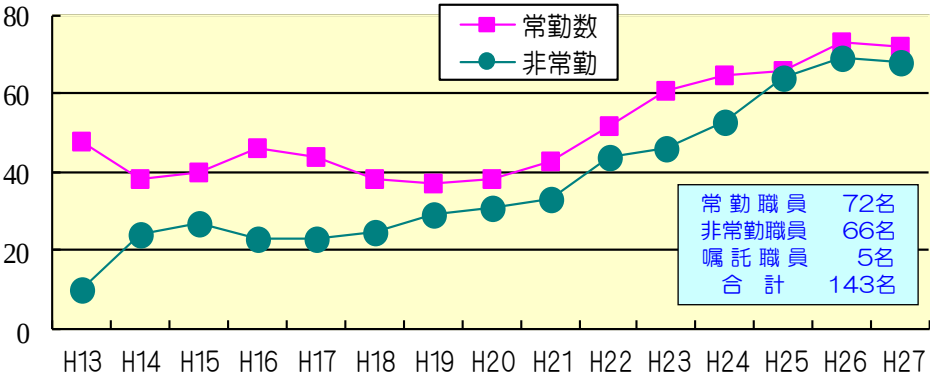
今年度は、特に組織体制の変更は起こっていない。

プレアデスにおいては指定上の事業所の名称をプレアデス、プレアデス福泉、プレアデスホームと区分けた。



(2) 職員数

年度末現在の職員総数は前年同様143名である。



(3) 職員配置

3月31日現在の各事業の配置職員は、指定基準を満たしている。

職種	足柄療護園		県西福祉センター		プレアデス		プレアデスホーム	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1名		1名		1名		1名	
サビ管	2名		1名		2名(兼務)		2名(兼務)	
医師		5名		1名(兼務)		1名(兼務)		
看護師	1名	10名		1名(兼務)		1名(兼務)		
生活支援員	31名	11名	13名	4名	21名(兼務)	8名	14名(兼務)	
指導員				2名		2名		
訓練担当	1名(兼務)	2名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)			
世話人							14名(兼務)	9名
その他	4名	8名		3名				

3月31日現在

4. 職員状況

(1) 労働条件の改定等

処遇改善費の改定に伴い、特別手当、夜勤手当、宿直手当、フルパートの時給の改定を行った。また、最低賃金の改定に伴い、該当する職員の給与及び時給の改定を行った。

(2) 職員研修

計画に基づき、階層別に施設内研修を実施した。新任研修ではディズニーランドにおいて、サービスのあり方研修(参加6名)を、労働局の「キャリア形成促進助成金」を活用し実施した。施設内の感染症研修は前年度の感染症研修修了者が講師になり実施した。

①施設内研修実施状況

職員研修	テーマ	講師	対象者	参加者
4月24日	食事介助	猪川ST	新人	14
5月21日	トランス	大野PT	新人	24
6月17日	防災	奥津管理員	全体	28
9月23日	感染症	感染症マスター職員	全体	40
12月13日	ふれあいセミナー	北村年子氏	全体	52
12月16日	救命救急	小田原消防	全体	34
1月18日	緊急時の対応	山岸課長	中堅	26
2月19日	障害の理解～聴く考える行動する	平田施設長	中堅	28
3月23日	権利擁護 / 人権研修	内嶋弁護士	全体	59
3月23日	防災	相日防災	全体	34

②スキルアップ研修実施状況(業務時間扱い・自由参加型)

日程	テーマ	講師	参加者
7月17日	オムツの当て方	クレシアオムツアドバイザー	21
8月5日	口腔ケア	加藤明美歯科衛生士	22
10月2日	交通安全講習	松田警察署	32
11月17日	障害者の就労支援	ぼけっと 渡辺氏	32

③施設外自己啓発(SDS): 交通費(上限5千円)及び参加費を助成

日程	テーマ	場所	参加者
10月9日	国際福祉機器展見学	東京ビックサイト	3
8月12日	よるべ会 わらべの杜 施設見学	-	9

◇合格お祝い金制度を活用して介護福祉士受験にチャレンジした職員7名が合格した。介護福祉士に登録した際に、お祝い金5万円を支給する。

④人財育成塾実施状況 参加者は指名

テーマ	対象者	日程	時間	講師
介護サービスプロフェッショナル研修 9月17日 事前研修 11月4日～5日 ディズニー研修 2月4日 フォロー研修	新人 6名	4日間	20時間	スターコンサルティンググループ 糠谷和弘氏



ディズニー研修

⑤施設外研修受講状況（33企画延べ47名参加）

内 容	参加者	主 催
第39回 全身協職員研究大会〔宮城県〕	良知覚之	全国身体障害者施設協議会
職員スキルアップ研修会	山岸直広	全国身体障害者施設協議会
サービス管理責任者研修	平田智徳【就労】 / 川西貴久【介護】 足立修【身体】	神奈川県
相談支援従事者初任者研修	竹内徹 / 足立修	神奈川県
相談支援従事者現任研修	行待巧 / 山岸直広 / 川西貴久	神奈川県
初任者研修〔キャリアパス〕	菅沼碧 / 臼井彩	神奈川県社会福祉協議会
チームリーダー研修〔キャリアパス〕	山口隼人	神奈川県社会福祉協議会
喀痰吸引指導者育成伝達講習	岩城敦子	フュージョンコムかながわ
痰の吸引等医療的ケア研修(特定者)	阿部達也 / 岸由加 / 生田目留美	フュージョンコムかながわ
デイサービス経営革新実践セミナー	足立修	船井総合研究所
人財化セミナー2016	古屋風人 / 丹羽涼太 / 保科香織	SYワークス

※その他、身障協、身療協、足柄上病院研修等へ参加

(3) 会議・委員会

年間日程に基づき計画的に会議を開催した。

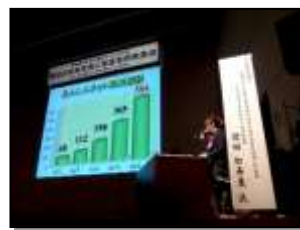
各委員会の活動を通じ、**リーダーシップの発揮**をはじめとした、職員の能力開発と**組織運営への参加**をはかってきた。

会議・委員会実施状況

名 称	内 容	開催数	メンバー
職員会議	施設運営及び職員に係る事項について提起し、職員間の意思疎通をはかる	4回	全職員
運営会議	施設運営及び職員に係る事項について検討し、組織の一体化を推進する	12回	理事長、各施設長、各課長 各リーダー、医務課サブリーダー
わくわく委員会 (日中活動)	クラブ活動や外出支援等、日中活動の企画・検討を行い、充実した日中活動を目指す	7回	◎佐藤(千)、飯間、奥津、露木(翼)、 菅沼、神羽、太田、(山岸)
いきいき委員会 (生活向上)	利用者自らが自立した生活を実現するための能力を身に付けていく視点で検討する	6回	◎持丸、月村、柘植、迫田、岸、 阿部(達)、猪川、(山岸)
さくさく委員会 (業務改善)	業務の効率化を実現し、職員の負担を軽減し、より充実した利用者支援につなげる	6回	◎府川、藤田、竹内、阿部、露木 (奈)、宮崎、(山岸、石川、山口)
リスクマネジメント 委員会	利用者が生活を送る上での安全安心確保と介護事故の防止をはかる	6回	◎良知、山岸、佐々木、石川、山 口、奥津、柘植、迫田、P大川
ボランティア 委員会	ボランティア受入及び教育、対応にかかわることについて検討する	12回	◎露木、佐藤(千)、飯間、神羽、 K北、猪川、土屋、P松本
研修委員会	職員の研修にかかわること、研修会の企画・開催について検討する	6回	◎鈴木(匠)、増田、良知、持丸、白 田、吉田、K七海、嘉山、P大野
衛生委員会	労働災害及び疾病の防止対策を行い、快適な作業環境の実現を促進する	7回	◎大澤、竹内、藤田、宮崎、嘉山、 根本、施設長、野村医師
広報委員会	広報誌『やまぶき』の編集・発行を行う。広報にかかわることについて検討する	4回	◎後藤、五味、奈良場、露木(翼)、 土屋、P鈴木
短期入所受入 検討会議	短期入所利用者情報の共有と受入にかかわる業務等の調整を行う	12回	◎増田、山岸、石川、山口、大澤、 根本、(佐々木)
食のあり方 検討委員会	ソフト食の提供にかかわる課題の整理や食事観察の必要な方の支援の仕組みづくりを行う	6回	◎猪川、石川、山口、K生田目、 P樽澤、(平田、山岸、佐々木、NS)(日清)

(4) 第4回かながわ福祉サービス大賞 入賞

かながわ福祉サービス振興会主催の第4回かながわ福祉サービス大賞～福祉の未来を拓く先進事例発表会～において、「**医療ケアの必要な方の短期入所**」の取り組みについて発表し入賞を果たした。



(5) 委員会活動報告

委員会名	委員長	年度実施報告
わくわく (日中活動) 委員会	佐藤 	季節感を感じられるイベントや食のイベントの検討、新たな外出先(施設外活動)の検討、クラブ活動の検討をテーマに取り組んだ。 9月のイベントとして「秋のチョコカーニバル」を実施するなど、7回のイベントと作品コンテストを実施した。 施設外活動では、新たな外出先としてすみみな太郎などを企画した。
いきいき (生活向上) 委員会	持丸 	利用者作品展展示コーナーの展示、ぶらりランチの再開の検討、利用者の交流の場「ふれあいコーナー」の検討をテーマに取り組んだ。 依頼先の都合で休止となった「ぶらりランチ」は、調整の結果新規依頼先が見つかり平成28年度再開に向け準備をすすめた。 作品展展示コーナーは希望者が出るなど、浸透し始めた。
さくさく (業務改善) 委員会	府川 	アセスメントサポートプラン、足柄スタンダードブックの改定修正について、また業務については同性介助や清掃、印刷見直し等をテーマに取り組んだ。 業務内容や業務に使用する書式の改正で、支援員の負担軽減につなげた。 また回覧物の見直しにより印刷物の削減をはかった。 今年度テーマを引き続き取り組み、随時見直しを実施していく。
リスク マネジメント 委員会	良知 	リスクマネジメント報告、ヒヤットと共有書の内容共有と対策の検討、身体拘束及び行動制限に関する事項の検討、成年後見制度の利用促進、その他緊急個人データの更新や人権チェックアンケートの実施について取り組んだ。 成年後見制度の利用促進に向け取り組み、制度利用者が18名となった。 身体拘束・行動制限の解除に向け取り組んだが、18名26項目の実施である。
ボランティア 委員会	露木 	ボランティア活動数、延べ1550名を目指しが、1366名の実績であった。 年間活動計画のイベント等に合わせて、学生向けに募集チラシを作成し、学校と連絡を密に取り周知活動を行い、学生が126名が活動に参加した。 プレアデスでは目標500に対し238名を実現した。 5月に親睦を兼ねた食事会を立食形式で開催し43名が参加した。
研修委員会	鈴木 	年間の研修計画に基づき、研修内容の検討や講師依頼、事前準備を行った。 足柄療護園職員を対象とした内容が多いことを踏まえ、県西福祉センターやプレアデス職員が現場で使える知識向上を目的としたものを加えるなど年間14回の研修を実施した。 12月に地域の方々にも声掛けを行い「ふれあいセミナー」を開催した。
衛生委員会	大澤 	産業医より情報を提供していただき、広報誌「やまぶき」に健康管理のコラムを掲載し健康に関する啓発をおこなった。 職場の定期巡回を通じて、職場環境のチェック、改善に取り組んだ。 労働衛生及び衛生管理の情報を収集し、必要に応じた検証をおこなった。 感染症マニュアルの運用チェックまでは至らなかった。
広報委員会	後藤 	『やまぶき』を季節ごと年4回発行した。 利用者・ご家族、関係機関等へ約600部を印刷し配布した。 事業内容が多岐にわたり、また活動内容も多く、やまぶきの記事内容について充実したものになってきたと感じている。 毎年恒例となった施設内写真販売を実施した。

(6) 労働衛生

職員健康診断を5月20日に実施し、診断の結果所見のある職員(43名)に対して、医師による個別指導を行った。夜勤従事者は2月に嘱託医師による健康診断を実施した。

衛生委員会において、施設内の巡回チェックシートにより職員労働環境の定期確認を実施した。

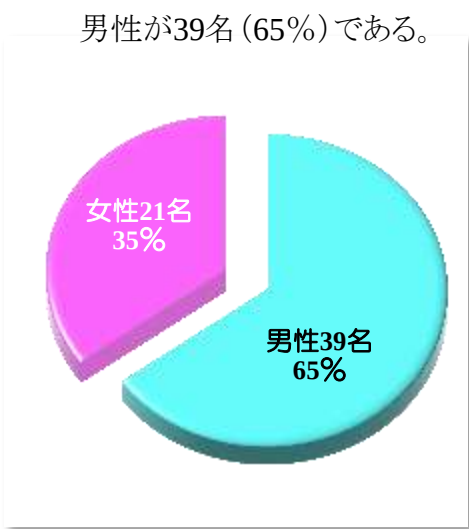
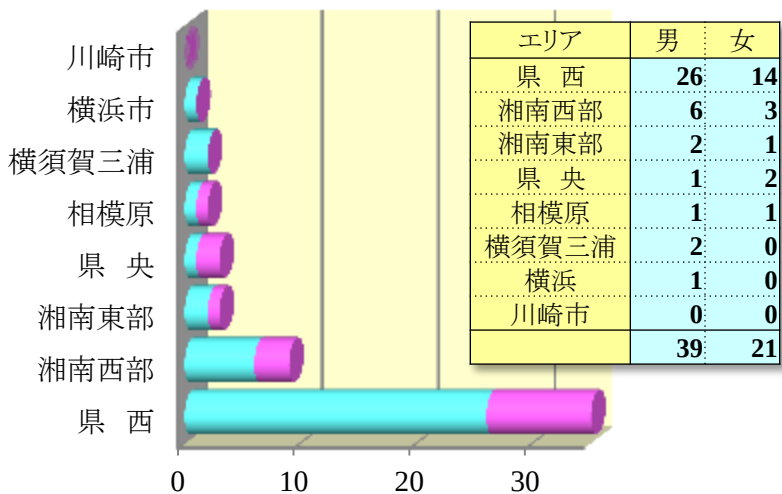
5. 足柄療護園の状況

(1) 施設入所支援

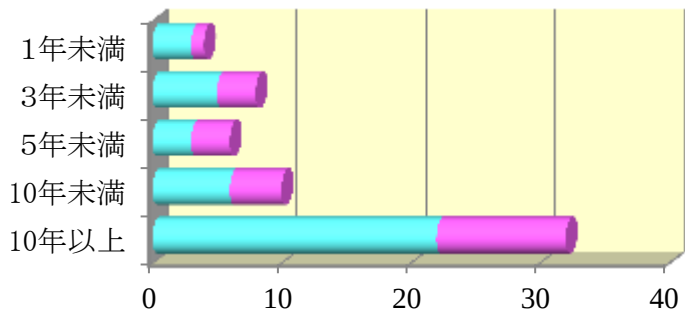
昨年に続き入院者が多い年であった。高年齢化が進み、また退院後に医療ケアが必要なケースが増えるなど、障害支援区分5.6の方が約97%と増加した。地域別の入所者数は県西地域の方が3分の2の40名となった。

① 利用者の状況 (2016.3.31現在;入所者数60名)

A.地域別入所者数: 県西地区が40名(67%)を占める。

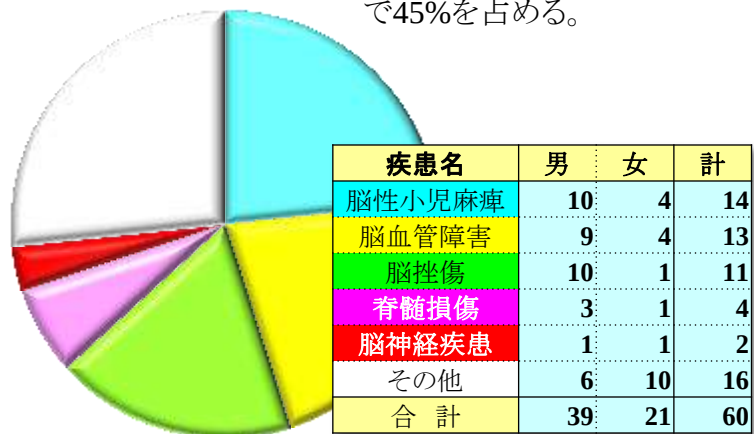


B.在所期間: 10年を超えた方は32名で53%。

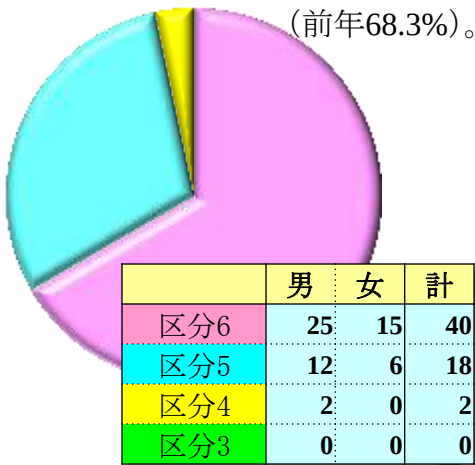


	男	女	計
1年未満	3	1	4
3年未満	5	3	8
5年未満	3	3	6
10年未満	6	4	10
10年以上	22	10	32

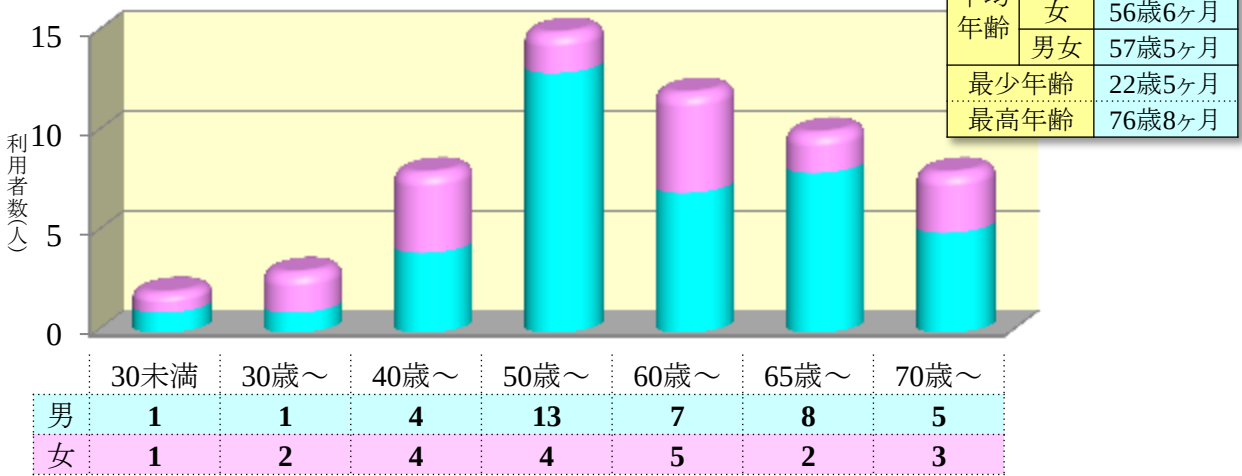
C.疾患別原因: 脳性マヒ・脳血管障害の方で45%を占める。



D.障害支援区分: 区分6 が66.7%



E.年齢別：平均年齢は57歳。70歳以上は8名。

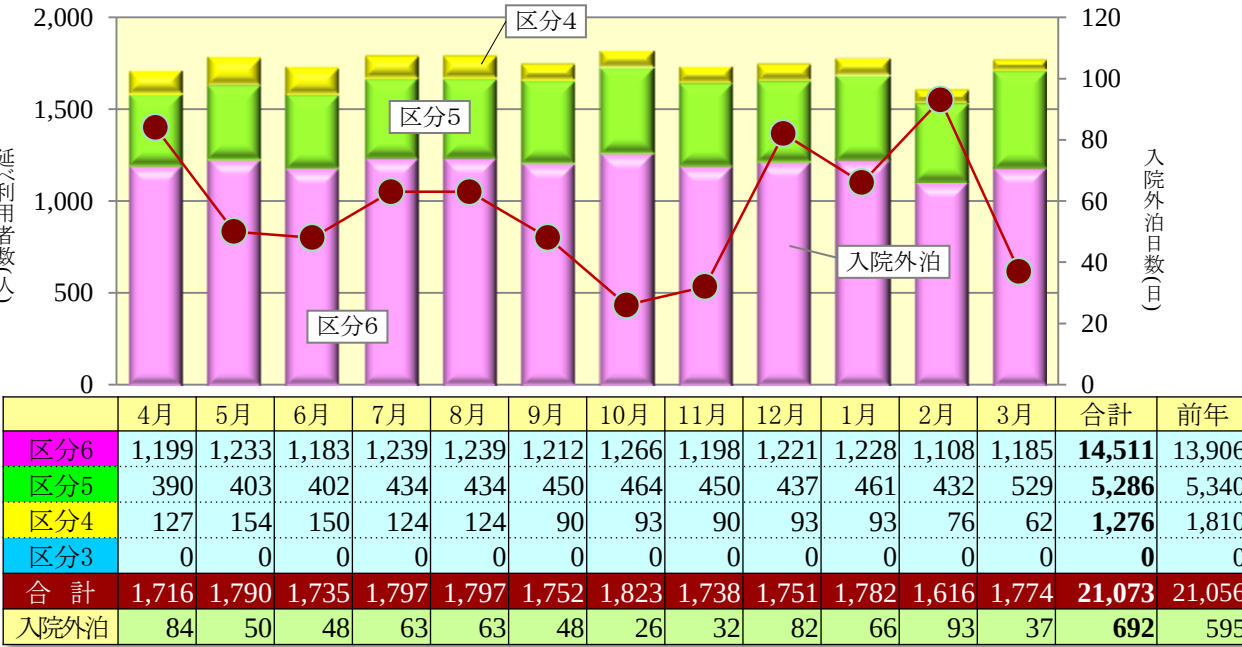


②個別支援

アセスメントサポートプランの書式を変更し、職員の負担軽減をはかった。支援面ではサービス管理責任者のもと個別支援計画策定会議、モニタリング会議を開催し、サブリーダーごと4グループで検討し、中堅職員がフォロー役となりケース担当中心での個別支援を行った。2ヶ月ごとのグループケース会議に、策定会議とモニタリング会議を統合して行うことにより、会議参加の負担軽減をはかり、より個別支援に対して職員が力を注ぐことができたようにした。

③利用状況

年度当初入所者60名であったが、年度中4名が病状の進行、悪化により、入院中の死亡や長期療養がやむなく退所となった。新規入所4名で年度末現在で60名である。しかし、今年度も入院退院が多く692日と前年の595日を上回った。年齢を重ね障害支援区分は重度化しており、区分4の方が5名から2名へと減少した。



(2) 短期入所の状況 定員6名

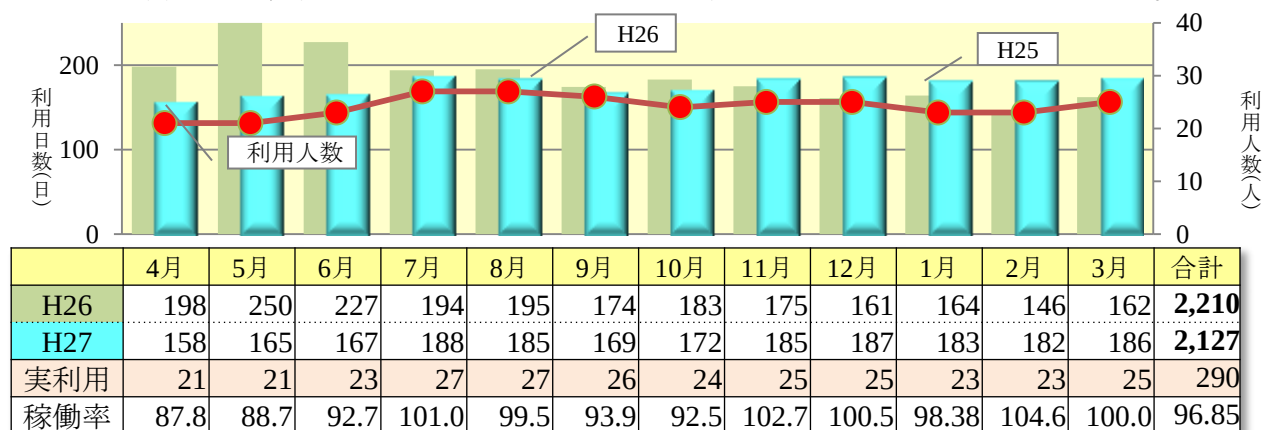
短期入所利用の希望が高く、入所者の空床も利用し、契約者**53名**（前年51名）に対し、実利用39名（前年46名）年間**延べ2127日**（前年2210日）のサービス提供を行った。ミドルステイを利用する2名も含め、**平均ベッド稼働率は96.85%**（前年100.9%）であった。

利用者の多くが県西福祉センターやプレアデスを併用しているため、各事業所との連携により利用者の日中・夜間を通した情報を共有し支援を行った。

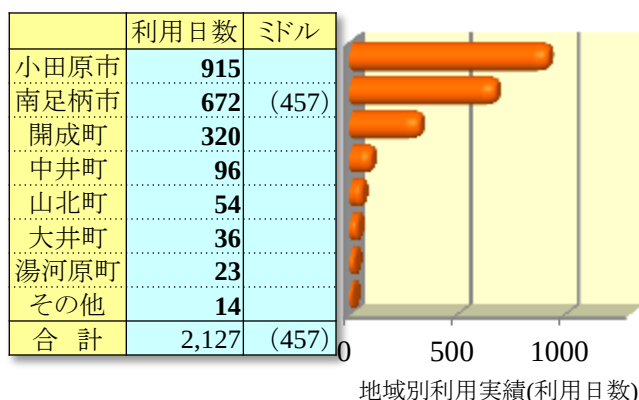
毎月「短期入所受け入れ検討会議」を開催し、利用者の情報共有を行なっている。

①利用者の状況(3.31現在)

A.利用実績：ベッド稼働率は96.9%（前年100.9%）で、延べ利用日数は2127日であった。

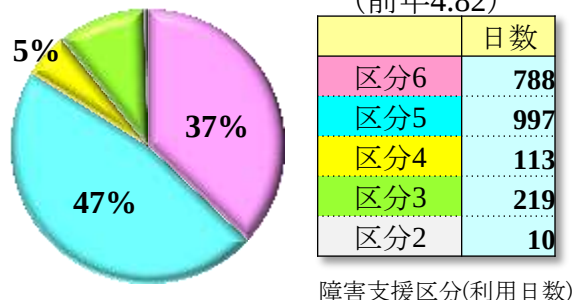


B. 域別利用状況：小田原市が43%を占める。



C. 障害支援区分別

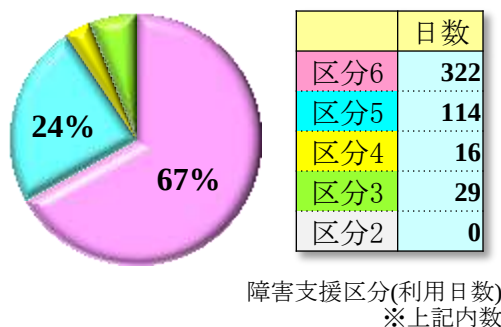
区分5と6で約84%を占める
平均障害支援区分は5.10
（前年4.82）



②地域拠点事業所配置事業の状況

地域拠点事業所配置事業「あんしんネット」の県からの受託も6年目となり、**28名**（前年22名）の登録、実利用**14名**の方に対し**延べ145名481日**（前年150名584日）のサービス提供を行った。

支援が困難なケースや緊急時の受入れ対応ができるよう各機関と連携をはかるとともに、各スタッフとの連携もスムーズに行えた。また、派遣看護師から夜間専属看護師への切り替えを順調に行うことができた。



障害支援区分(利用日数)
※上記内数

(3) 活動支援の状況

① クラブ活動

スプレーアートが指導者の都合により休止となったが、13のクラブ活動等で、延べ3,574名（前年3,923名）の参加数となった。地元の“いずみ地域福祉会”に支えられており、年間延べ413名のボランティア数となっている。

カラオケ大会や卓上大会、スポーツ大会、作品コンテストの開催を通じ、通所利用者と入所者との交流を深める機会を作るとともに、日常の活動への意欲的な参加につなげた。

クラブ名	回数	参加	平均
音楽クラブ	3	83	27.7
スポーツクラブ	15	433	28.9
創作クラブ	12	285	23.8
卓上クラブ	20	447	22.4
華道クラブ	6	128	21.3
カラオケクラブ	51	869	17.0
陶芸クラブ	6	35	5.8
園芸クラブ	5	54	10.8
レクダンス	11	182	16.5
カーレット	5	135	27.0
ローリングハレー	13	267	20.5
パソコン	40	358	9.0
ネイルアート	12	105	8.8

クラブ活動実績

カラオケ大会	
6月25日	参加12名/観客22名
9月9日	参加12名/観客29名
11月26日	参加10名/観客26名
3月9日	参加13名/観客25名
卓上ゲーム大会	
7月23日	参加20名
12月24日	参加19名
スポーツ大会	
4月30日	ボーリング 参加39名
7月29日	ボーリング 参加42名
10月21日	運動会 参加47名
2月18日	感染防止のため中止
作品コンテスト	
10月14日	60名168作品
～18日	212名の投票により選考

各大会実績



② イベント・余暇活動（アクティビティ）

法人全体で取り組む「秋まつり」は、10月第3日曜日に開催し、600名を超える人々で賑わい、地域との交流を深める機会となった。

月	イベント	参加数
4月	お好み焼き作り	46
5月	草もち作り	50
6月	フルーチェ作り	45
7月	アイスクリーム	41
7月	七夕会	
8月	流しそうめん	57
9月	チョコカーニバル	48
11月	焼き芋会	65
12月	クリスマス会	
1月	もちつき	39
2月	節分会	
2月	バレンタイン	52
3月	甘酒の会	43

季節のイベントは、わくわく委員会で企画している。9月のイベントとしてはじめて「秋のチョコカーニバル」を実施し好評を得た。また、日中活動として取り組む食のイベントも人気が高く定期的に開催している。

また、日中活動担当により、かまぼこ板絵、パウダーアート、ビーズなどのアクティビティを年間で8企画、57回延べ110名に対して行った。



もちつき



チョコカーニバル

③ 買物外出・施設外活動

長時間の買物外出の実施や施設外活動を実施した。基本的に1対1の支援が必要であるが、南足柄市社協ボランティアやご家族、延べ17名の協力を得ながら実施した。小グループに分かれての外出で年間41ルート(前年29)で114名の方が出かけた。

外出先	回数	人数	外出先	回数	人数	買物外出	
すたみな太郎	5	14	アサヒビール見学	1	2	シティーモール	13回/35名
ステーキガスト	2	6	箱根駅伝観戦	1	2	イトーヨーカ堂	4回/10名
ちくわ作り(鈴廣)	3	8	プレアデス祭	1	5	ラスカ 小田原	1回/3名
カラオケボックス	2	7	お花見	1	3	秦野 イオン	2回/6名
富士サファリパーク	1	4	紅葉見学	1	2		
映画鑑賞	1	3	梅鑑賞	1	1		
御殿場アウトレット	1	3					

④ 施設外大会・発表会への参加

例年通り、神奈川県身体障害者施設協議会主催の県大会に参加した。

9月26日	第26回 神奈川県ローリングバレーボール大会	入所 6名 通所 5名	Bブロック 1回戦敗戦 / 2回戦勝利
11月30日	第21回 身障施設 文化ステージ発表会	入所 5名 通所 2名	ハンドベル演奏 / 合唱
1月22日	第21回 身障施設 利用者作品展示会	----	30作品
2月6日	第48回 身障施設対抗卓上競技大会	6名	ダブルスコセロの部 竹中・相良ペア 3位
3月12日	第17回 ローリングバレーボール大会[ぱっする杯]	入所 5名 通所 5名	4位

⑤ “ぶらり外出” “ぶらりランチ”

人気の企画である“ぶらり外出”“ぶらりランチ”は、介助支援者の委細先が見つからず実施できなかった。平成28年度再開に向けて、南足柄市社協の有償支援「えぷろん」との交渉をすすめ、実現に向けて動き出すことができた。一方、今までのひとりでの外出経験を活かしてタクシーを依頼して出かける方も増え、11名になった。

⑥ 飲酒・喫煙

毎週、金曜日の夕食後に飲酒希望者を対象に喫茶コーナーにて飲酒サービスを実施している。現在、8名(前年8名)が飲酒希望しており、定期的に飲酒されている方は4名である。利用者の喫煙は喫煙所にて可能で、受動喫煙防止条例に準拠した対応となっている。

⑦ ファッションショー開催

生涯学習サポーター和～Lei～さんの、計らいで施設を使った「一人ひとりが輝けるファッションショー」が11月22日に開催されました!! 足柄療護園から利用者3名が参加したランウェイ!! ネイルやお化粧、衣装もこだわり、いつもとは違った雰囲気の中、想像以上の盛り上がりで感動で会場が包まれた。



7. 県西福祉センター(生活介護・自立訓練・就労継続・相談)の状況

毎月、第四土曜日に食事のイベントを開催し、3事業の利用者交流を行ってきた。送迎においては2便目の車両や軽車両での送迎を増やすなど出来るだけ多く利用できるよう調整し、年間利用人数10200名の目標をかかげ運営した。結果前年5.8%増の9,411名(前年8,893名)、1日平均30.4名(前年度28.7名)の実績であった。

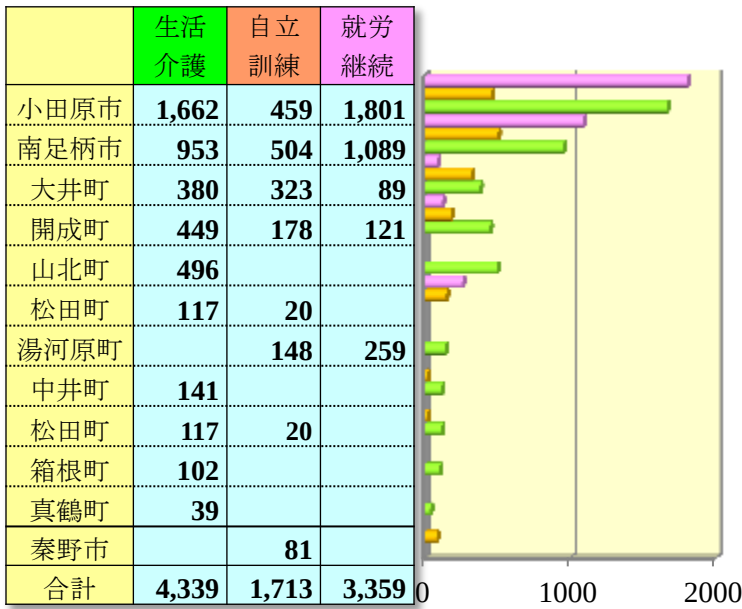
【生活介護事業】 ♣毎月のイベントや創作活動が定着してきた。入浴においては業務改善や一部午後の入浴にするなど、より多く受入れ可能な体制を整えた。延べ利用人数は1.3%増の4,339名で(前年4,284名)、1日平均14.0名(前年13.9名)であった。

【機能訓練事業】 ♣個々の訓練プログラムに沿って行い、計画的に機能訓練を行った。また、機能訓練の期間満了後を見据えた支援を実施した。延べ利用人数は6.9%増の1,713名(前年1,602名)、1日平均5.5名(前年5.2名)であった。

【就労継続支援B型事業】 ♣引き続き軽作業を行い、利用者増や作業効率が上がったため、全体の受注数を増やした。また、あらたに検品作業の定期的な受注が可能となった。延べ利用人数13.7%増の3,359名(前年2,953名)、1日平均10.8名(前年9.6名)であった。

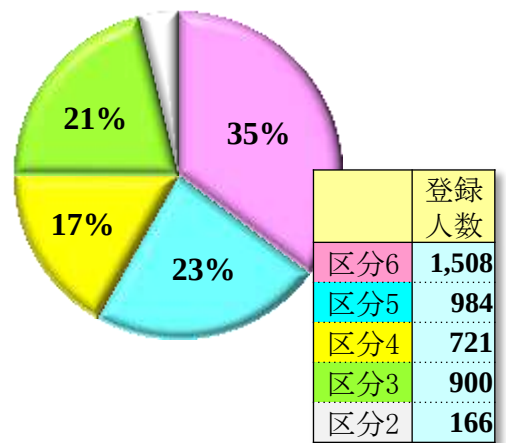
(1) 利用者の状況(3.31現在) 定員(生活介護30名/自立訓練12名/就労継続15名)

①地域別利用者延べ数 (小田原市42%、南足柄市27%)

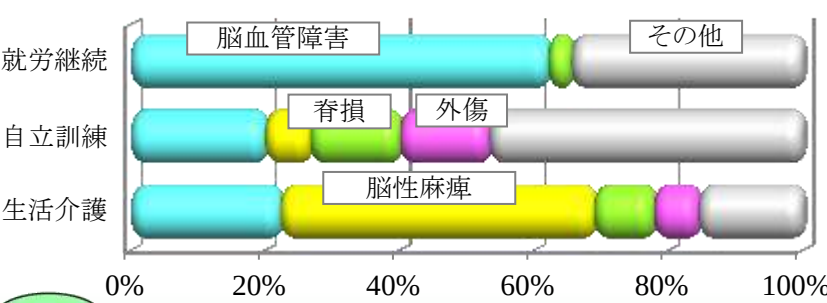


②生活介護利用者障害支援区分

平均障害支援区分 4.6(前年4.5)



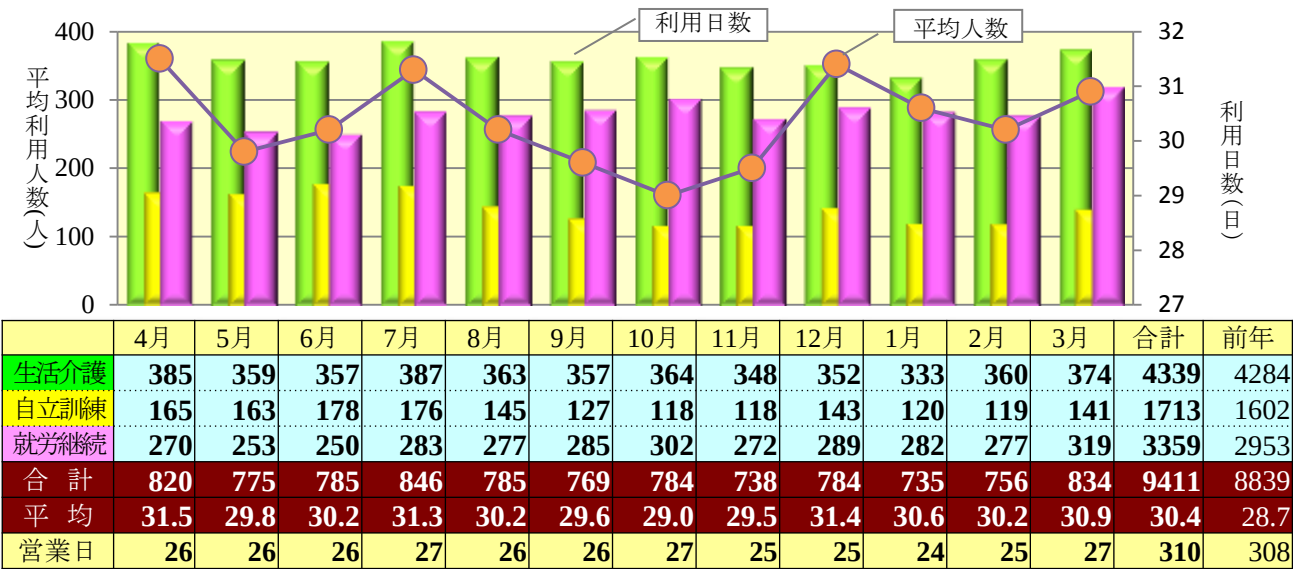
③疾患別原因:就労Bは脳血管障害が多い



	生活 介護	自立 訓練	就労 継続
脳血管障害	10	3	18
脳性麻痺	21	1	
脊髄損傷	4	2	1
頭部外傷	3	2	
その他	7	7	10
合 計	46	15	29

(2) 利用状況

年間利用人数は9,411名となりすべての事業で前年を上回り518名の増となった。生活介護では平均障害支援区分5と6の割合が全体60%以上を占め重度の割合が多くなるなど、事業ごとの特徴を生かしたサービス提供が定着してきた。



(3) 利用者工賃の支給状況

就労B型の登録者は29名(前年末23名)となった。うち4名は自立訓練からの移行利用である。作業工賃の月平均は690円増の4,477円(前年3,443円)となった。時給換算では134円と前年の110円を24円上回る支給ができた。

(4) 日中活動の状況

通所中の活動の強化に取り組み、月1回の活動を平成27年度は2回に増やして実施した。また、毎月1回土曜日に食のイベントを開催し、好評をいただいている。

4月25日	和食バイキング	10月24日	中華バイキング
5月23日	バーベキュー	11月21日	手打ちそば
6月6日	プレアデス祭	12月19日	クリスマス会
7月25日	洋食バイキング	1月23日	ラーメンフェスタ
8月22日	屋台メニュー	2月27日	おでん
9月19日	海鮮バーベキュー	3月26日	にぎり寿司

活動実績

活動名	回数	参加	平均
手話サークル	52	491	9.4
音楽サークル	47	199	4.2
卓球&カラオケ	42	140	3.3

食のイベント開催状況

(5) 相談支援事業

相談支援事業所からの問い合わせが多く、生活介護では入浴サービスの相談が多い。サービス利用計画作成は、全体で60名、内訳は足柄療護園入所者47名、在宅サービス利用者13名である。

生活介護相談	5件
訓練相談	7件
就労継続相談	3件
入所相談	件
短期入所相談	4件

8. プレアデス(生活介護・就労継続・日中一時・相談)の状況

年間の利用者数は前年対比17.3%増の15,183名(前年12,939名)、1日平均35.2名(前年度29.0名)の実績であった。登録者数は年度末で61名(前年度末62名)である。生活介護の利用者の障害支援区分は平均で5.27(前年4.87)と大幅に上昇した。就労B型では、日中の活動や施設外活動へのサポートの充実をはかるとともに、自分発表会での発表機会を作り自分と向き合うことの大切さを学ぶ機会を作った。また、利用者向けの研修勉強会を企画するなど、学べる機会も提供した。ボランティアは、ふくらの製造や販売の協力、行事への協力で年間238名(うち家族88名)となった。

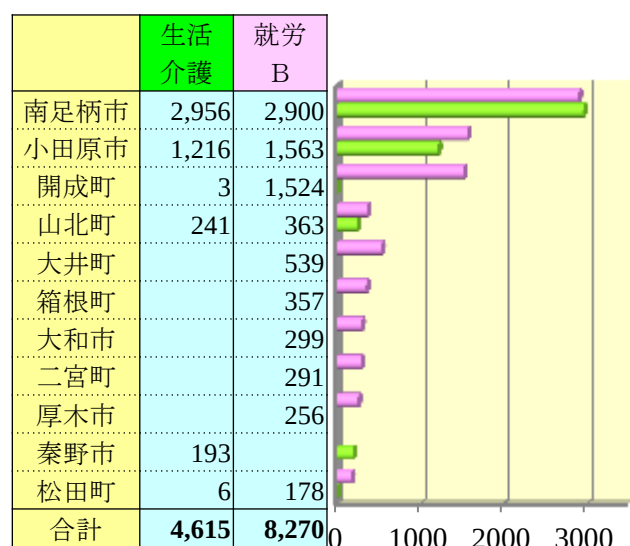
【生活介護事業】 ♣生活介護の障害支援区分は最重度の区分6が5割、平均で5.27と区分5を超える状態である。利用者個々が落ち着いて過ごせる環境整備を実施した。具体的には、外部刺激に敏感な方にはパーテーションで細かくブースを区切る事で落ち着いて作業を行えるようにしたことなどである。生産活動はアルミ缶つぶしを中心に月平均1,635円程度の工賃を支給し、ビーズやアクリルたわしを作成しイベント等で販売も実施した。永年続けてきたアルミ缶作業終了に伴い、3月からは新たな作業として卵パックの仕分け作業を開始する準備をすすめた。

【就労継続支援B型事業】 ♣医療検査用キットの組立て検品や電子基板のふき取り等の受注作業を中心に作業を提供した。施設外就労として、下田組やりんどう会館の清掃、足柄療護園での喫茶営業をおこなった。一般就職を目指している方6名を対象に、特定子会社への施設外支援を実施し、就労体験を積む機会とした。障害特性に合わせ事業所内の作業レイアウトを変更し、利用者同士のトラブルが減少し、作業への集中力が増した。2名が合同就職面接会に参加したが、一般就労には結びつかなかった。ふくらの利用者の2名が一般就労に移行し定着している。

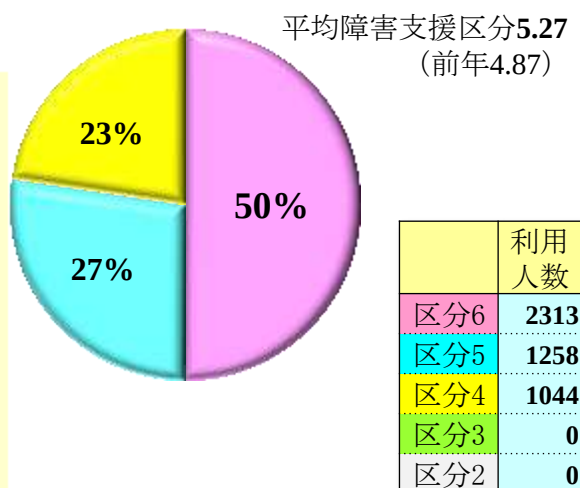
【日中一時事業】 ♣個々のニーズに合わせてのレスパイト支援として実施した。イベントで販売するビーズ作成、県のスポーツ大会や県西施設イベント等の練習を実施した。

(1) 利用者の状況

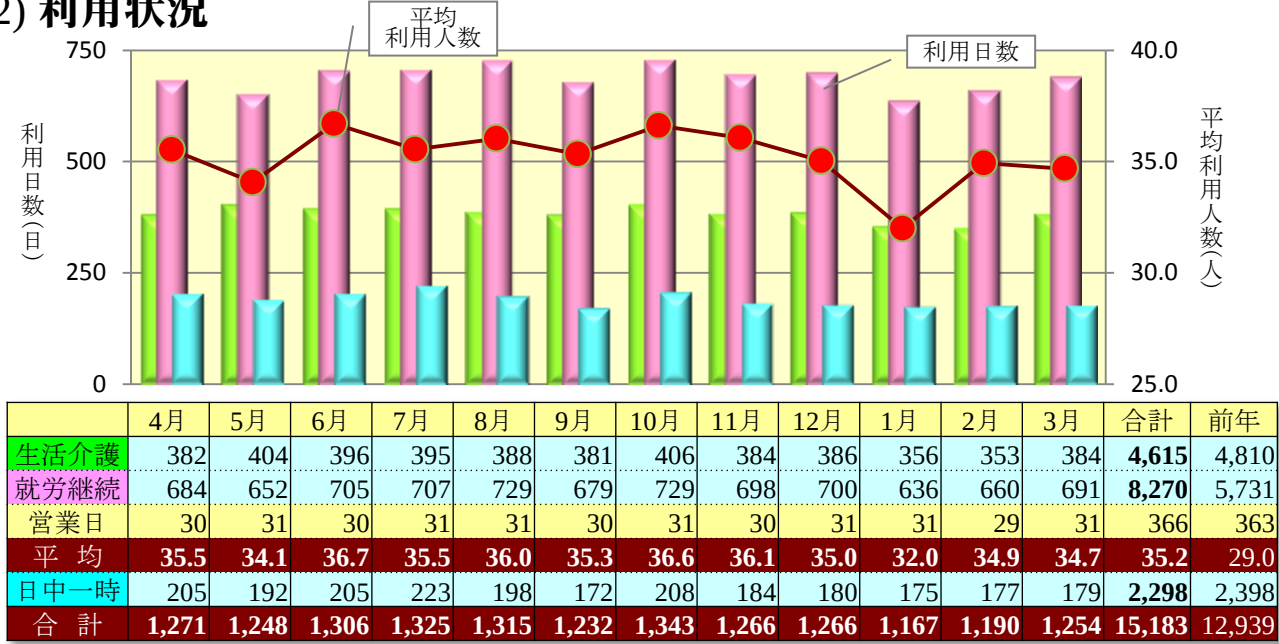
①地域別延べ利用者数



②生活介護利用者障害支援区分



(2) 利用状況



(3)利用者工賃の支給状況

一般就労に向けての支援と、工賃額アップを目標に支援を行い、4月に36名の登録者で開始し、年度末には38名となった。就労継続支援B型の平均工賃は全体で月平均**12,040円**となり、前年より2,380円増額できた。

	H27	H26
プレアデス全体	12,040	9,660
ふくらん以外	12,462	7,350
ふくらん	24,858	16,182

平均工賃実績

(4)相談支援事業

施設利用について**28件(前年65件)**の相談があり、18件で見学や体験利用を実施した。そのうち11名の方が契約に至った。児童施設や精神病院、養護学校からの相談が多いが、自宅で引きこもっているようなケースの相談も増えている。計画相談は12名を担当している。

生活介護相談	6件
就労継続相談	12件
入所・GH相談	11件

(5)日中活動

就労B型では、外部講師を招いて**利用者向けの研修勉強会**を年2回開催し、生活に密着した研修内容に参加した利用者からは好評をえることができた。生活介護で、季節に合わせたイベントを企画した。また障害特性や活動能力に応じた個別の活動提供や全員が参加して、春夏秋冬をテーマにした4部作のジオラマの作成を行った。

(6)施設外活動

利用者増に伴い事業ごとやグループ単位で、目的を持って外出に出かける工夫をして取り組んだ。9月には**大型バス一台をチャーターし37名**(前年38名)が一泊でディズニーシー、葛西臨海水族館へ出かけた。また障害者スポーツ大会にも積極的に出かけた。



プレアデス一泊旅行(ディズニーシー)

(7) 地域交流

ふくらん出張販売でお声掛けをいただいた地域のお祭りやイベントには積極的に参加し地域との交流を深めた。6月に開催された、福泉薬師堂「中興三百年祭：本開帳」記念式典にプレアデスも招かれ参加した。南足柄小学校2年生の社会科実習において、今年は2学年全クラス89名が社会科見学に来るなど地域教育機関との連携も強化した。



プレアデス祭では300名を超える
方々にぎわった。

8. プレアデスホーム（共同生活援助定員36名）

やまさきホームは新たに2棟が加わり、4棟（シリウス、スピカ、カペラ、リゲル）で17名の利用となった。プレアデスホーム全体では、定員36名に対し年度末で26名の利用である。利用人数増により、行事や外出などを各棟単位で実施した。夜間の世話人は14名となり、各棟単位で世話人会議を実施し、情報共有のもと個別対応を強化した。必要により、成年後見制度等の権利擁護の支援も行った。

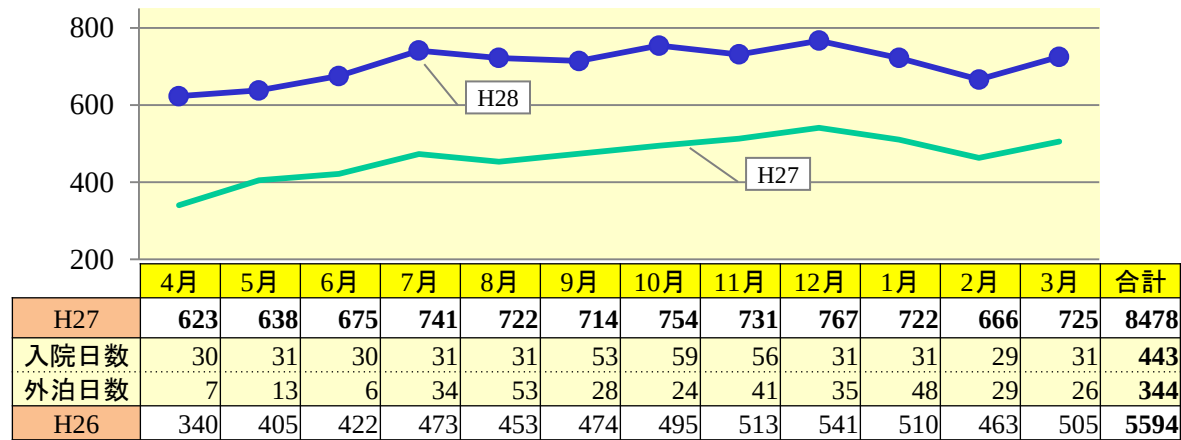
A.入所者の性別及び人数



B.障害支援区分

区分	あまつぼ			いずみ			やまさき			計							
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		1	2	3	4	5	6	7
6	1	1	2							2							
5		1	1	2		2	2		2	5							
4		1	1					1	1	2							
3				1		1	5	1	6	7							
2		1	1	1		1	3	1	4	6							
1	1		1				3		3	4							

C.月別利用人数実績



2月6日～7日の1泊2日で、毎年恒例になっている県西地区グループホーム交流会が、参加総数157名、熱海水葉亭で開催された。プレアデスホームからは17名が参加し地域で生活している他法人のホーム利用者との交流をはかった。



熱海一泊旅行

9.ふくらん販売状況

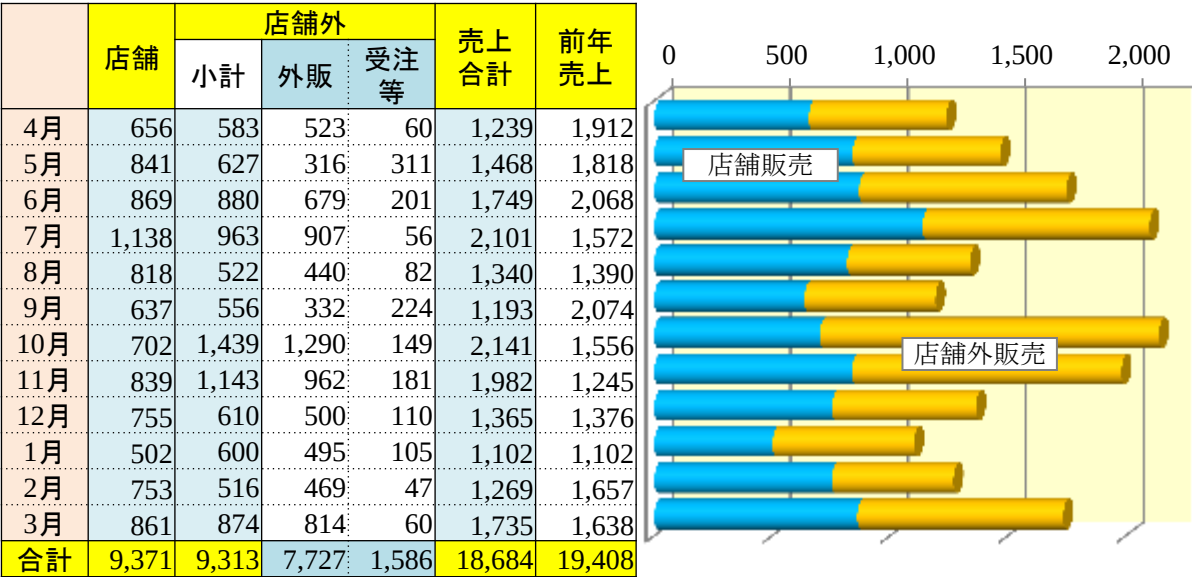
(1) 販売状況

店舗では、月ごとに変わり種シュークリームの販売やセール販売を実施したものの、前年を上回る売り上げを確保できなかった。

外販ではカミイチ、大磯市、しゃれイチ等定期的な催事会場を確保し定着することができた。また、鈴廣、イトーヨーカ堂、小田原西武、HaRuNe小田原、ラスカ小田原でも定期的な販売が実現できた。さらに地域自治会の協力のもと、新たに駒形新宿、広町のお祭り等に出店でき、南足柄市内14自治会に広げることができた。

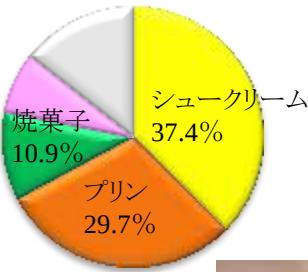
ふくらんの利用者登録数は12名(前年10名)となり、1日の平均利用者数は**7.4名**と前年の4.7を大きく上回り、平均工賃についても **24,858円**(前年16,182円)と大きく伸ばした。

◆月別販売実績(単位:千円)



◆店舗部門別販売実績(レジ集計値)(単位:千円)

部門	売上	構成比	販売数	H26売上
シュー	3,566	37.4%	20,633	3,767
プリン	2,838	29.7%	15,088	2,921
焼菓子	1,041	10.9%	4,825	1,518
たまご	713	7.5%	3,233	753
その他	1,371	14.3%		1,169



(2) 取り組み

平成26年度に実施した小田原短期大学食物栄養学科とふくらんのコラボ企画「たまごスイーツコンテスト」の最優秀賞作「梅とレモンのメレンゲゼリー」を、**5月に商品化**し「クリームチーズとレモンのふるるん梅ゼリー」として新発売した。

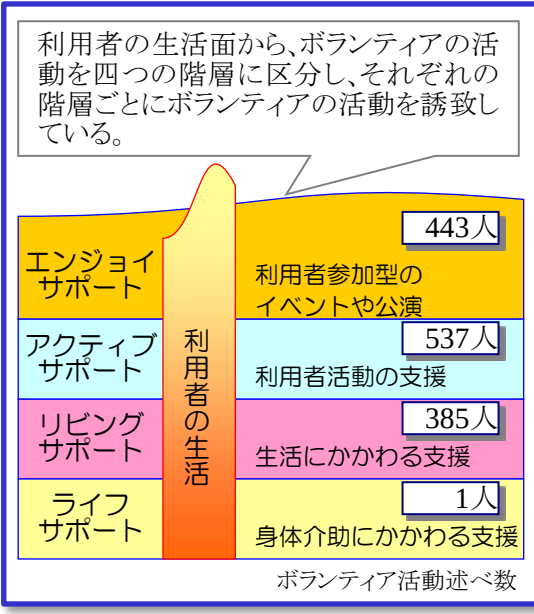
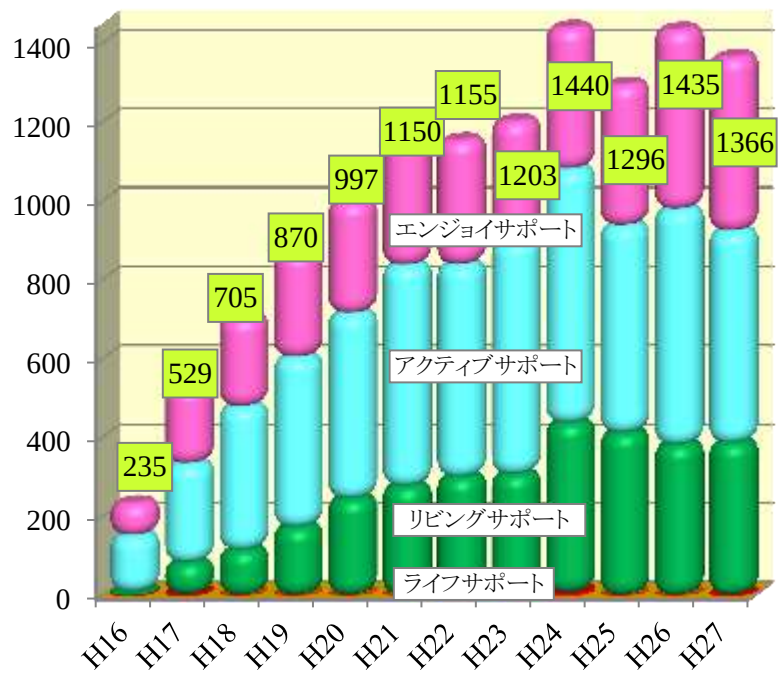


10. ボランティア活動の状況

(1) ボランティア実績

年間ボランティア数の目標を1,550名とし取り組んだが、感染防止による活動中止なども影響し**1,366名**（前年1,435名）の活動誘致にとどまった。従来通り学校に対して電話で依頼するなど積極的に誘致活動を行い、学生の活動は**126名**（前年**172名**）であった。クラブ活動については、地元の**いずみ地域福祉会**の献身的な取り組みで**413名**のボランティア活動を得て、日中活動の充実がはかられた。

プレアデスにおいては500名の目標を掲げ、**238名**を受入れた。



(2) ボランティアイベント開催状況 57回1,546名（前年43回1,449名）が参加・鑑賞した。

催事	参加	様子	催事	参加	様子	催事	参加	様子
車いすダンス 矢車草の会	144名 /4回		絵本タイム とんちゃん	98名 /5回		レクダンス	182名 /11回	
アニマル セラピー	84名 /4回		小田原 奇術クラブ	80名 /2回		おはなし 青い鳥	75名 /4回	
子供ピアノ 演奏	71名 /2回		ちびっこ 共育園	70名 /2回		ピクルス コンサート	64名 /2回	

(3) ボランティア食事会

日ごろのボランティア活動に感謝し、5月27日にボランティアの方々をお招きし、職員との懇親を兼ね食事会を開催した。今年度は立食形式で1回の開催とし、43名の方が参加した。



11. 健康管理の状況

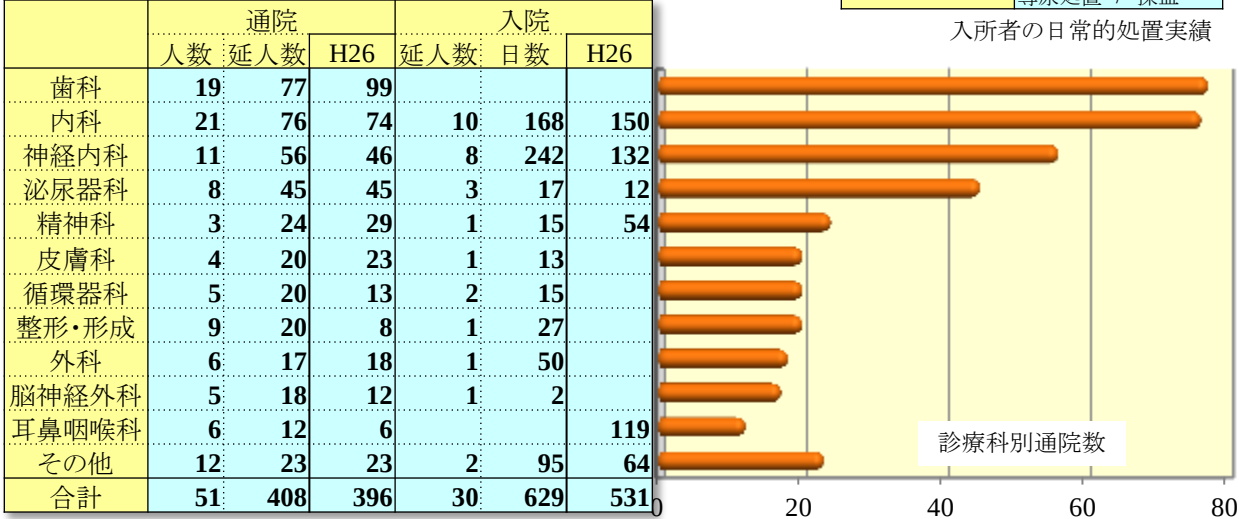
(1) メディカル

通院数は年間408件(前年396件)であった。一方、入院日数は実数21名延べ30名629日(前年531日)であった。2月より風邪症状が蔓延し、下旬に1週間の活動中止の対応を取った。

	対象者	件数
膀胱洗浄	6	370
摘便	11	260
義眼洗浄	1	105
血糖測定	2	58
褥瘡	4	575
経管栄養	4	1253
バルーン交換等	2	23
その他	皮膚科処置 / 吸引 眼科処置 / 浣腸 胃瘻・膀胱瘻処置 導尿処置 / 採血	

入所者の日常的処置実績

通院/入院実績



※その他の入院は、救急外来64日/4名。

(2) リハビリ（訓練等サービス）

リハビリテーション実施計画書に基づき、個別リハビリテーションを行い、身体・認知機能の維持・向上をはかった。また、少人数のグループ訓練を併用し、応用的な能力の獲得の援助に取り組んだ。リハビリテーション実施計画書はアセスメントシートとの連動を実現した。

機能訓練等

訓練が必要性に応じ、理学療法士を中心として機能維持訓練を実施した。個別に自主訓練方法を提案し、身体機能への自己認識の向上を促した。また、身体機能に合わせた車いすなど補装具の調整提案をした。

言語訓練

必要に応じ摂食嚥下機能の評価を行い、VF検査立ち合い、訓練、食形態の調整等を行った。

高次脳機能・コミュニケーション能力の向上など目的別グループ訓練を継続実施し効果を得た。

作業訓練(月1回実施)

日常生活動作能力の維持向上を目指し、自主プログラムを中心に訓練プログラムの立案をした。

	利用人数	延べ数	事業別			
			H27	入所	県西	プレ
言語訓練	62	1,260	1,385	700	431	129
機能訓練	63	2,275	1,961	1,192	1,083	
作業訓練	28	96	52	67	29	
動作訓練	0	0	187			
音楽療法	29	573	582	379	194	
グループセラピー	6	163	218	163		
運動グループ	0	0	51			
カウンセリング	10	12	48	11	1	
合計	198	4,379	4,484			
訪問マッサージ	19	1,895	1,641			

※訪問マッサージは、マッサージ業者と利用者個人の契約によるもの。

※動作訓練、運動グループの活動はH27年度より、カウンセリングはH27年度下期より中止した。

12. 給食の状況

(1) 食事提供実績

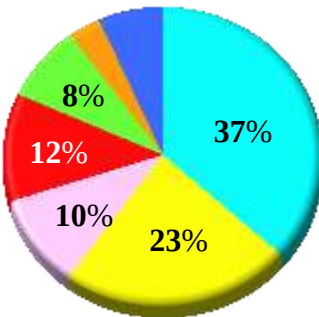
7月より栄養士業務についても日清医療食品に業務委託し、給食管理の統一をはかった。また、プレアデスホーム内のプレアデス専用の厨房が完全稼働となり、プレアデス及びホームの利用者に対して約3万食を提供した。合計食数が初めて10万食を超えた。

食のあり方検討会等を通じ食札の見直しを行い、食札に服薬に関する情報の記載を追加した。また、言語聴覚士をはじめ多職種で、食事観察を行い個別に適切な食形態での提供を実施した。

	食数
朝食	30,325
昼食	45,160
夕食	32,869
合計	108,354
施設	60,224
短期入所	4,197
県西福祉C	8,834
プレアデス	11,010
ホーム	19,097
職員他	4,992

4月～3月 給食提供実績

① 食事の提供形態；入所者の常食は37%



入所者の食事形態

	入所	県西
常食	22	57
一口大	14	3
1cm大	6	10
きざみ	7	3
超きざみ	5	3
ミキサー	2	5
経管栄養	4	3
合計	60	84

3.31現在

② 栄養量

保健所指導のもと1650kcalを基準としている。居住者でカロリーの制限をしている方は13名。

	栄養量
カロリー	1698 k _{カロ}
たんぱく質	63.7 g _{ラム}
脂質	49.7 g _{ラム}
カルシウム	595m _{グラム}
塩分	7.9 g _{ラム}

4月～3月実績

(カロリー制限食も含む)

カロリー制限	人数
1400k _{カロ}	7
1300k _{カロ}	1
1200k _{カロ}	5

3.31現在
(足柄療護園)

③ 食事費用概算

給食費は、入所利用者より1日1,430円をいただいている。(短期・通所は朝400円・昼650円・夕食550円)

プレアデス対象の厨房の体制強化に伴い、委託料が増加し1日1,890円となった。

	平成27年度	平成26年度
業務委託費	34,996 千円	29,488 千円
食材費	33,279 千円	30,615 千円
1食当	307 円	312 円
1日当	921 円	936 円
給食費	68,275 千円	60,103 千円
1食当	630 円	612 円
1日当	1,890 円	1,837 円

※給食にかかわる光熱費は含まず。

(2)食のイベント

誕生日メニューやちょっと贅沢を味わう「ハッピーメニュー」やイベントによる食事提供を行った。

4月13日	お花見御膳
5月16日	焼きたてパン
6月29日	紫陽花弁当
7月7日	七夕

8月3日	沖縄郷土料理
9月27日	お月見献立
10月15日	栗ごはん
11月21日	手打ちそば

12月25日	クリスマス
1月1日	お正月
2月3日	恵方巻き
3月3日	ひなまつり

(3)給食検討会

利用者参加で開催している給食検討会を年4回実施した。会議には、調理師や委託業者の担当者も加わり、給食に対する要望の実現に向け検討を適切に行った。

給食検討会開催状況

開催日	参加者
4月15日	利用者 20名
7月15日	利用者 16名
8月26日	利用者 10名
1月20日	利用者 8名

(3)食のあり方検討会

隔月で「食のあり方検討会」を開催しソフト食の推進について検討を重ねた。ソフト食は食材により対応が可能となり1ヶ月に15日程度実施できた。また、ミキサー食においては昼食時にムース食の提供を実施し、状態に合った食提供につとめた。

13. 権利擁護の状況

(1) 苦情の受付状況

平成27年度においては、各事業共に苦情の申出はなかった。

(2) K-フレンズの活動

※K-フレンズ =かながわ身体障害福祉ネットワーク
(身体障害者自らが主となる権利擁護・苦情解決ネットワーク)

足柄療護園に毎月来園し12回の活動において、利用者相談25件があり、施設への報告のもと適切に対処した。また、給食検討会への参加やボランティアの情報提供や利用者活動にかかわる情報交換を行った。

(3) KWネットの活動

※KWネット =県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク
(県西地区で活動するオンブズマン組織)

年4回の訪問を通じ、利用者の話を聞いていただいている。相談内容も変化しており、半数はGHでの相談であった。今年度もプレアデスがKWの事務局を担当した。

身体拘束状況

(4) 身体拘束ゼロに向けた取り組み

身体拘束マニュアルに沿って、ご本人ご家族と同意のうえ、実施している内容のうち、足柄療護園入所者7名12項目(前年8名12項目)、短期入所利用者11名14項目(前年9名10項目)の合計26項目が身体拘束・行動制限に該当している。解除した方は5名であった。

拘束内容	目的	件数
ベッド柵	転落防止	8
センサー設置	外出防止	3
ミトン手袋	抜去防止	1
トイレテーブル	座位保持	2
トイレベルト	座位保持	2
胴体ベルト	転落防止	2
車いすベルト	転落防止	3
その他		5

(5) 成年後見制度利用の推進

足柄療護園入所者60名のうち、現在18名が制度を利用し、2名が申請中である。プレアデスホーム利用者26名のうち制度利用は9名である。今後も家族に制度利用の必要性を説明していく。

(6) 人権チェック調査結果

12月に法人職員97名に対して、利用者支援にかかわり自らを省みる機会として、また利用者の人権を尊重するうえで必要な心構えを共通の認識とすることを目的に『人権チェック』調査を実施した。

平成26年度の調査結果と比較すると7割の項目で評価が下がったものの、評価の低い項目では底上げなった。

特に評価の低い項目の『他の職員の利用者への対応について、問題があると感じたことがある』では、大きく評価が下がっており、自分自身で気づいていないこともあることから、職員会議等で、職員同士でチェックし合うなど、日頃から福祉のプロ意識を持ち支援に係ることを周知した。

評価の低かった項目
他の職員の利用者への対応について、問題があると感じたことがある。
利用者の年齢にふさわしい接し方をしている
職員側の価値観や都合で一方的・画一的な援助内容とならないようにしている。
昨年に比べて評価の下がった項目
他の職員の利用者への対応について、問題があると感じたことがある。
利用者の人格を尊重した接し方をしている。
利用者からの要望や申し出について、真摯に耳を傾けている。
昨年に比べて評価の上がった項目
障害者差別禁止法を知っていますか？
利用者のさん付けが徹底できている。

14. 安全管理の状況

(1) 防 災

防災計画に基づき、避難訓練及び防火訓練を実施した。引き続き南足柄市と福祉避難所としての協定のもと、非常用備品の整備に対する助成をいただいた。

月日	内 容	
6月17日	部分訓練	居住棟2階介護センターより出火を想定した避難訓練。模擬通報訓練、防災教育を行った。
9月23日	総合訓練	1階建物外より出火を想定した避難訓練。発煙筒使用。通報訓練、消火訓練を行った。
12月16日	部分訓練	管理棟1階洗濯室前より出火を想定した避難訓練。発煙筒使用。通報訓練を行った。
3月23日	総合訓練	居住棟1階廊下より出火を想定した避難訓練。発煙筒を使用。煙探知機を使用し非常通報装置を作動。消防署への通報訓練、水消火器による消火訓練を行った。

足柄療護園 避難訓練実施実績

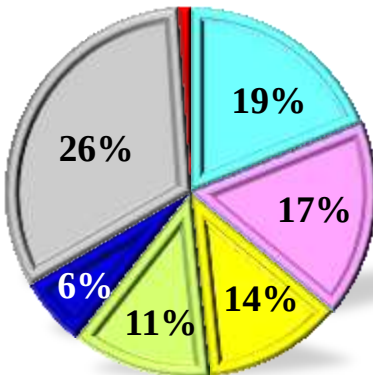
(2) リスクマネジメント（事故報告）

リスクマネジメント報告書による**事故件数は366件**で前年の326件を上回った。事業所別では入所が**248件**（前年158件）で、全体の**67%**を占める。内容別では、転倒・転落で19%（前年19%）、続いて服薬関係が17%（前年16%）であった。転倒・転落では、職員のかかわりがあるものが16件（23%）発生した。救急車による搬送を必要とした大きな事例（ライフガード）が4件（発作2件、転倒1件、心肺停止1件）発生した。

4月～3月	転倒/ 転落	誤薬/ 服薬	裂傷/ 打撲	利用者 行為	物品 破損	その他	ライフ ガード*	合計 (%)
服薬時		17		1		0		18 5%
自由時間	27	8	13	20		15	3	86 23%
排泄時	5	5	8	1		32		51 14%
食事中		16	2	11		13		42 11%
歩行・移動中	5		2	5		2		14 4%
就寝時	7	1	1			3	1	13 4%
車椅子乗車時	2		2	1		0		5 1%
入浴時	5		6			8		19 5%
移乗中	14	4	5			1		24 7%
立位時								0 0%
その他	4	12	6	6	22	44		94 26%
合 計	69	63	45	45	22	118	4	366
(前年)	63	51	44	41	61	62	4	326

物品破損・・・車両事故26件
その他・・・カテーテル類のつまり等

リスクマネジメント報告書内容実績



事故種別状況

- 転倒・転落
- 誤薬・服薬
- 裂傷・打撲
- 利用者行為
- 物品破損
- その他
- ライフガード

(3) インシデント(ヒヤリハット)

ヒヤットと共有書によるインシデントの件数は**1年間で211件**（前年309件）であった。内訳では、自力による移乗などの利用者行為にかかわる内容が72件（前年117件）、薬の飲み忘れなど服薬にかかわる内容は46件（前年68件）、車いすからずり落ちそうになっていたなどの転倒/転落が26件（前年50件）であった。

15. コミュニティ(地域交流)の状況

(1) 地域との交流

秋まつりでは、100名近いボランティアにご協力いただき、600名を超える方々で賑やかに開催することができた。12月にFMヨコハマでもおなじみの北村年子さんをお招きし足柄ふれあいセミナーを開催し、地域から29名の方に参加いただいた。プレアデスにおいては、プレアデス祭を福泉自治会の協力を得て開催した。



足柄ふれあいセミナー 12月13日

(2) 利用者講演

地域福祉への貢献活動として実施している利用者講演活動が7年目を迎えるはじめて小学校での活動をおこなうなど累計聴講者数は3700名を超えた。

月 日	依頼元	対象者	参加者	利用者
7月18日	小田原短期大学	保育学科2年生	120	3
9月3日	神奈川県立大井高校	社会福祉援助技術2年生	21	2
11月25日	北里大学医療衛生学部	言語聴覚療法学専攻1年生	30	2
12月4日	日本女子大学	社会福祉学科1年生	120	3
12月4日	中央医療健康大学校	理学療学科 1～3年生	100	2
12月21日	小田原市立芦子小学校	5年生	35	1

利用者講演実績

(3) 地域自治会との連携

『ふくらん』の出張販売を機会として、自治会のお祭りや文化祭など14の自治会(前年12)にお声掛けいただき、出店参加することができ、地域との交流をはかることができた。
また、足柄療護園、県西福祉センターでは「三竹」「沼田」、プレアデスでは「関本」の文化祭に利用者作品を出展させていただいた。



利用者講演
於小田原市立芦子学校

16. 広報の状況

(1) 広報誌『やまぶき』の発行

広報委員会において広報誌「やまぶき」の発行を行った。利用者の活動や生活の様子を伝えることを主に年4回発行し、利用者・ご家族、地域自治会、関連業者、行政を含めた関連機関等へ約600部印刷し配布した。

通巻	発行日	主な内容
53号	4月30日	平成27年度事業計画 やまきホームの開所 他
54号	7月31日	平成26年度事業報告 ふくらん一周年 プレアデス祭報告 他
55号	11月30日	秋まつり特集 他
56号	1月30日	新年のあいさつ やまきホーム紹介 他

やまぶき発行実績

(2) ホームページ

足柄療護園のホームページは、定期的な活動を中心に更新を行った。ホームページへの掲載は利用者に説明の上、快諾いただき、利用者の活動を中心に適宜更新に心掛けた。
ふくらんについては専用のホームページの更新やフェイスブック(フェイスブックの“いいね!”は950)で、認知力向上につとめた。



<http://fukuran.jimdo.com/>

17. 渉外関係(家族会・実習生/研修生等)他

(1) 実習生・研修生の受け入れ

足柄療護園では言語聴覚士の実習や大井高校の社会福祉援助技術履修生の介護体験の受け入れた。

プレアデスでは、小田原短期大学保育学科5名の実習を受け入れた。

また、中学生の職場体験の依頼もあり全体で5名の受け入れを行った。

	内 容	依頼先	受入数	実習期間
足	ST実習	北里大学	1	5/25～7/4 (1ヶ月)
足	ST実習	大阪医専門学校	2	9/24～10/21 (20日)
足	介護体験	大井高等学校	18	11/13
プ	保育実習	小田原短期大学	4	8/17～28
プ	保育実習	小田原短期大学	1	10/12～25
プ	職員実習	養護学校/岡本小	3	延べ4日
セ	施設実習	小田原養護学校	2	延べ2日
プ	施設実習	小田原養護学校	3	延べ3日
プ	職場体験	泉中学校	2	12/3(1日)
足	職場体験	南足柄中学校	1	2/3～4(2日)
プ	職場体験	南足柄中学校	2	2/4-2/5(2日)

実習受入実績

(2) 自治会(三竹会)活動

施設入所者自ら自治会を組織し活動を実施してきたが、平成22年度より役員選出が滞り、実質活動休止状態となっている。

(3) ご家族との交流等

足柄療護園全入所者のご家族を対象に足柄療護園家族会を組織している。会費納入者は**40家族**。5月と12月に家族会全体会を開催し、終了後、施設清掃にご協力いただいた。また、5月には**親睦パーティー**を開催し、職員・ご家族同士の親睦を深めた。秋まつりではバザー品の販売を行い売り上げは76,410円であった。(平成27年度会長;武井勝氏)

プレアデスでは、8月に家族をお招きし、夕日の滝でバーベキューを行った。また、ホーム利用者のご家族には12月の大掃除をお手伝いいただいた後に、親睦を兼ねて食事会を開催した。



プレアデスBBQ



足柄療護園家族会懇親会

5月 25日	家族会総会 参加22家族29名	懇親会 施設清掃協力
10月 11日	秋まつり準備 役員等5名	バザー品の 値付け
10月 21日	秋まつり協力 役員等6名	秋まつり協賛 バザー販売等
12月 22日	家族会全体会 参加18家族22人	クリスマス会協賛 施設清掃協力
2月 21日	役員選出会議 役員等4家族4名	役員選出

足柄療護園家族会活動実績

(4) 施設見学

足柄療護園では、施設紹介や障害福祉啓発のため、施設見学の積極的な受入を実施した。長野市安茂里地区民生児童委員、厚木市荻野地区民生児童委員、同市小鮎地区ボランティアの会、大井町民生児童委員、計**4団体104名**の方が訪れた。施設見学の際には、時間的な都合が許されれば、**利用者の講話**や**利用者による施設案内**を行うなど、他の施設とは違った足柄療護園独自の取り組みを行った。

